

■招詞 ヨハネによる福音書 11:25-26 「私は復活であり、命である。私を信じるものは、死んでも生きる。生きていて私を信じるものは誰も、決して死ぬことはない。このことを信じるか。」

■礼拝の祈り

わたしたちに朝の光を与えてくださる天の父なる神さま、

<礼拝の招きへの感謝>

明るい朝を与えてくださいました。主のご復活の光の輝きの中礼拝をおさげすることができます。十字架につけられ、死なれた主イエスは墓に葬られましたが、何者も主をそこにとどめておくことはできませんでした。あなたはあらゆる死へと導く力をはらいのけ、死そのものに勝利なさって、御子イエスを復活させられました。十字架によってわたしたちを罪から贖ってくださった主イエスが、復活の命へとわたしたちをも招き入れることでわたしたちも生きる希望を与えてくださいました。この計り知れない恵みに感謝いたします。

復活の主に出会った弟子たちが始めた教会は、週の始めに礼拝をするようになりました。主の昇天のあとも、聖霊によって復活の主がともにいてくださる礼拝し続けました。わたしたちのこの礼拝がそれら代々の教会に連なり、復活の主に連なる礼拝をこうしてささげることができることを感謝いたします。

今、世界の教会がイースターの礼拝をささげます。顔は知りませんが、世界の教会は主によって一つに結ばれています。霊とまことをもって礼拝をささげるすべての教会を祝福してください。

<神の御前での罪の告白と悔い改め>

今、十字架の赦しと復活の命を知る前は、わたしたちは闇を好んで歩んでいたことを振り返ります。わたしたちは困難の中にある時、あなたを見上げるのではなく、うちにとじこもり、自ら暗闇に向かっていました。他の真実ではないはかない光に心うばわれました。このような不信仰を今、あなたの前で恥ずかしく思います。わたしたちは、自分ばかりを見つめて、あなたの救いを小さくしてしまっていました。あなたに愛されているはずの自分自身を小さい、とるにたりないものと思い込んでしまいました。逆に自分の知恵を過信し、疑いの心を持ってしまいます。自分の力を過信して、自分を救うのは自分などと思いがります。このようにあなたの光を見失ったとき、わたしたちは罪へ罪へとどんどん歩きだしてしまうのです。しかし、あなたは確かに主の復活によって、わたしたちを光に立ち戻らせてくださいます。ここでもういちど、あなたの光の中に立たされている恵みをたしかにさせてください。

<御言葉が語られ、聞かれるため、聖霊の働きを求めて>

そのために今日も御言葉をお語りください。主のご復活にはっきりと示され与えられた命がここでもわたしたちに注がれますように。まさにこの時にこそ、「主は復活された」との思いを確かにし、復活の光を希望にする生き方を思い出させてください。

■教会の祈り

<礼拝感謝>

イースターの礼拝を感謝いたします。復活の驚きと恐れの知らせをききました。しかし、教会はそれを喜びとし、こうして御言葉の礼拝を続けて参りました。今日の礼拝をわたしたちの歩みの中に与えてくださり、感謝いたします。

<イースター感謝>

イースターの喜びのうちに、わたしたちは新しい歩みを始めようとしています。新たな命に生かされるものとして、精一杯喜び、あなたを賛美し、心を尽くして祈ることができるようにしてください。喜んで神と人とに使え、喜びを家族や友人に伝える者としてください。

先週行われた受難週祈禱会を感謝します。それぞれが、主イエスを証し、十字架を見上げて祈りをあわせました。復活と十字架を切り離すことはできません。それは、復活の光の中で、十字架が罪の赦しであることが初めてわかるからです。そして、十字架がなくては復活はないからです。どうか十字架の赦しと復活の命の希望にこれからも歩ませてください。

<新しい年度にあたり>

4月、新しい月、新しい年度を歩み始めています。新たな歩み始める者たちをあなたが守りください。どのような道であってもあなたに道を求める祈りの中に歩むことができる安心をお与えください。特別に新しくなくても生活が続ける者も同じように祝福をお与えください。教会も新しい年度を歩み始めました。主の御心に適う歩みができますよう聖霊をお与えください。

<苦難の中にいる人を救ってください>

わたしたちは、心や体に困難を抱えている人が大勢いることを知っています。どうかお救いください。さまざまな支えが与えられていますけれど、あなたの救いなしには歩むことができません。主イエスのまことのなぐさめを与えてください。今御言葉を聞きましたわたしたちが、この御言葉をたずさえて、祈り、ともにあゆむことができますよう、あなたの御用のために用いてください。

世界を見ると、争いがなくならず、弱い人たちが虐げられています。どうか慰めと助けと平和を与えてください。あなたがわたしたちに平和をつくるようにおっしゃいました。平和を作り出す者が幸いであるとおっしゃいましたので、平和を作る業のためにわたしたちをお用いください。平和を作り、人を助けるために、支え合うために、祈り合うために、どうかわたしたちをお用いください。

<主の復活の恵みの中を歩みます>

復活の命をいただいたわたしたちがそれぞれの場所でまことに主に仕え、主を証しする歩みをするようになりますようにお導きください。

主イエスキリストの御名によって祈ります。アーメン。

■祝福

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがた一同と共にありますように。アーメン。